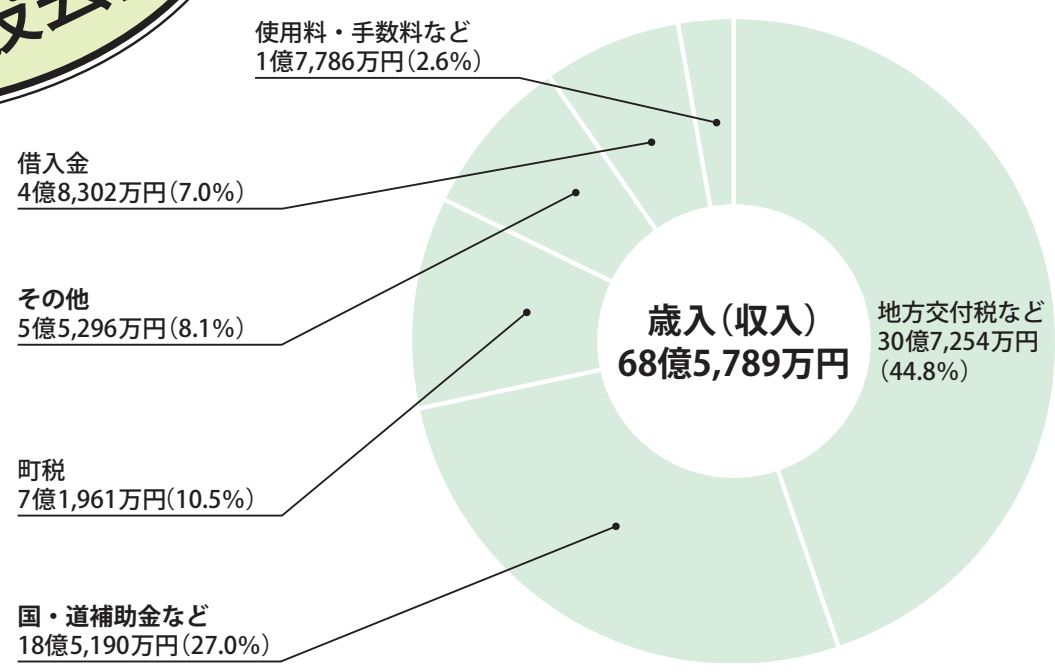
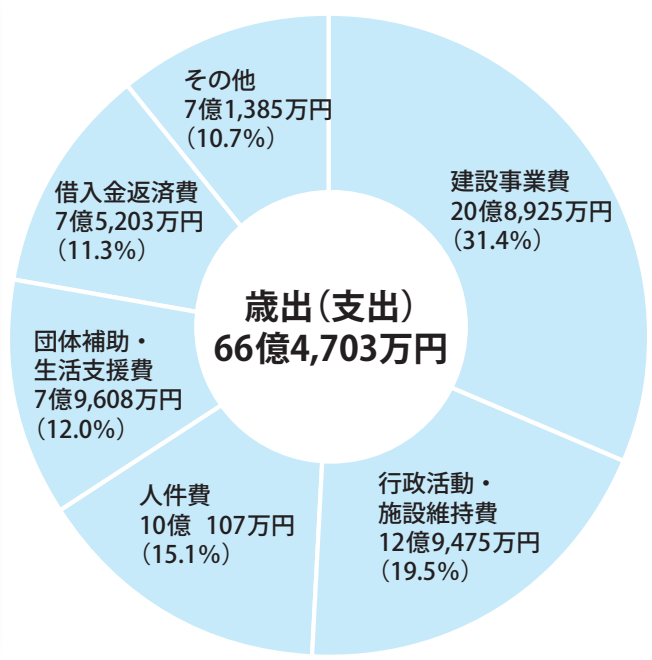


佐呂間町決算報告

町では、皆さんから納めていただいた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくため、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。



- 【行政活動・施設維持費】**
一般行政活動を行う経費や施設などの整備に使った維持的経費
- 【人件費】**
職員給与・議会議員報酬など
- 【団体補助・生活支援費】**
団体への負担金や補助金、高齢者・障がい者への生活支援費
- 【建設事業費】**
道路、公共施設、産業基盤などの整備に使った投資的経費
- 【借入金返済費】**
大きな事業を行うために借り入れたお金の返済
- 【その他】**
一般会計から特別会計に繰り出したお金、基金の積立など

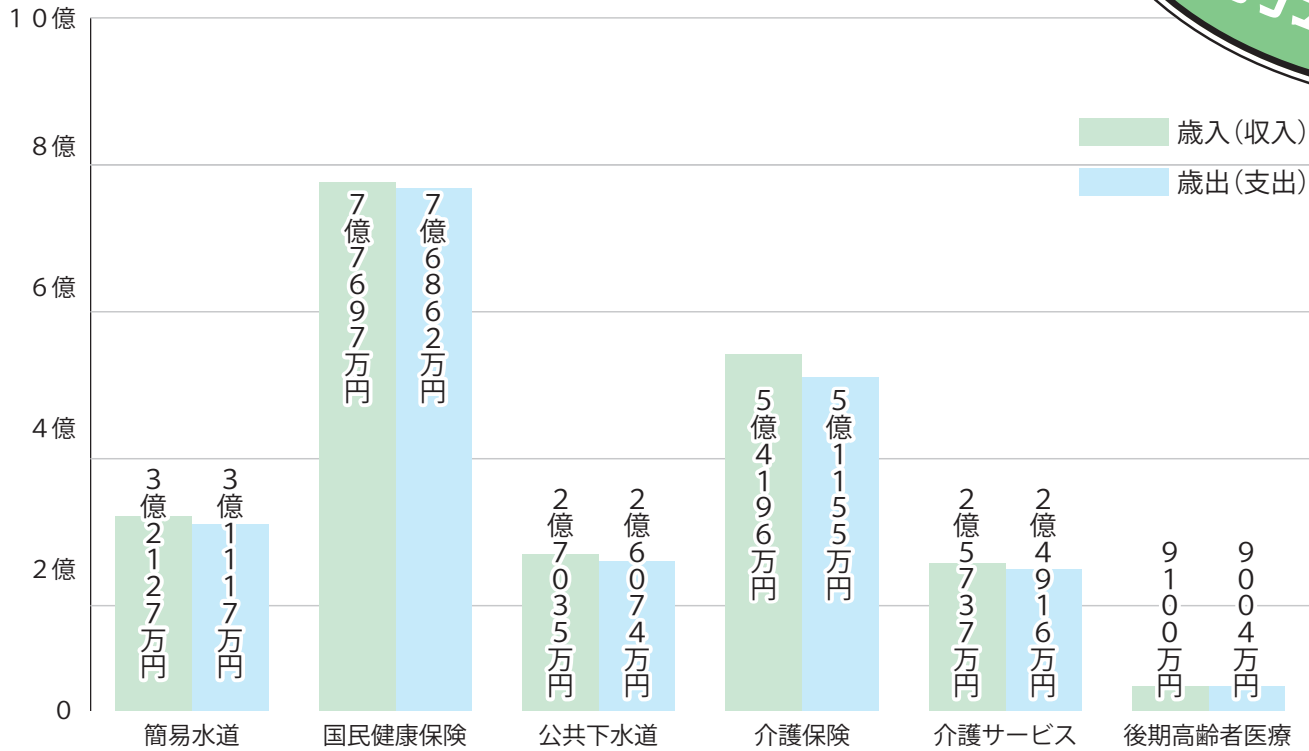


一般会計財産運営状況の概要

令和3年度予算編成においては、初年度となる第5期総合計画前期5カ年実施計画と第2次地方創生総合戦略に掲げる重点プロジェクトの実行に努めながら、将来を見据えた計画的な予算となるようコスト意識を持ち、限られた財源と人員のなかで最大の事務事業効果が発揮されるよう、各種施策に取り組み、国や道などの補助制度の積極的な活用と、交付税措置が見込まれる起債発行などの財源確保に努め、バランスの取れた行政運営が図られるよう予算編成を行いました。

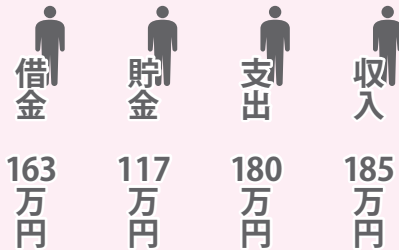
本年度の地方交付税総額は28億0051万円、普通交付税の追加交付があったことから前年度と比較して3億5962万円の増額となりましたが、義務的経費のより一層の抑制はもとより、補助金や町債等による財源確保に努め、土地改良事業や町有林整備事業など第一次産業基盤整備をはじめ、簡易水道区域拡張工事や町道改良舗装工事などのインフラ確保事業、若佐歯科診療所治療機器購入事業、各小中学校エアコン設置工事など医療および教育関連の整備にも取り組みました。

最終予算額は繰越明許費を含めた68億4836万円となりました。決算額については歳入決算額68億5789万円、歳出決算額66億4703万円となり、実質収支差引残額は2億1086万円となりました。



※特別会計決算額を含めて計算しています。

※令和3年3月末人口
4917人



令和3年度決算を
町民1人当たり
に換算すると...

○基金(貯金)
57億6584万円

○起債(借金)
80億3429万円

基金と起債

健全化判断比率

指標名	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.00	20.00
連結実質赤字比率	- (-)	20.00	30.00
実質公債費比率	7.9 (7.5)	25.0	35.0
将来負担比率	- (-)	350.0	基準なし

※比率として表れない場合は「-」と表記しています。()は前年度数値

公営企業会計に係る資金不足比率

特別会計名	比率	経営健全化基準
簡易水道	- (-)	20.00
公共下水道	- (-)	20.00

※資金不足が生じていないため「-」と表記しています。()は前年度数値

●健全化判断比率および資金不足比率のいずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回っています

※佐呂間町公式ホームページにも掲載しています。

地方公共団体の財政を適正に運営しているかを判断するため、令和3年度決算に基づく財政健全化の指標を算定しましたのでお知らせいたします。公表にあたり、健全化判断比率および資金不足比率、ならびに算定基礎となる書類について監査委員の審査を受け、議会への報告を行っております。

財政健全化判断比率 資金不足比率の公表